

参考資料

(本リリースは、米国時間 2021 年 4 月 19 日に発表済みのアフラック・インコーポレーテッドによる英文プレスリリースの参考和訳です。解釈に相違が生じた際には、英語版を基準とします。)

2021 年 4 月 23 日

アフラック・インコーポレーテッドが 「2020 年度ビジネス&サステナビリティレポート」を発行

当レポートは、アフラックの ESG へのコミットメントが、パーパス（企業の存在意義）とプロフィット（経済的利益）の両立を図りつつ、どのような変化を生んでいくのかお伝えするものです。

ジョージア州コロンバス - 2021 年 4 月 19 日

アフラック・インコーポレーテッド（以下「当社」）は、本日、「アフラック・ウェイのもとに歩んだ 65 年：パーパス（企業の存在意義）とプロフィット（経済的利益）の両立を図りつつ変化を生み出す」と題する「2020 年度ビジネス&サステナビリティレポート」の発行につき発表しました。このマルチメディアを活用した包括的なレポートは、これまで個別に公表してきた環境・社会・ガバナンス（ESG）報告書、企業の社会的責任（CSR）報告書、および年次報告書の情報を統合したものであり、ステークホルダーの皆様がオンライン上で報告内容をカスタマイズするオプションを備え、検索もしやすいものになっています。当レポートは、当社の ESG ウェブサイト esg.aflac.com からご覧いただけます。

アフラック・インコーポレーテッドの会長兼最高経営責任者であるダン・エイモスは、当レポートの発行について、次のように述べています。「アフラックの CEO を務めて 30 年余りとなりますが、これまで、2020 年のような年を経験したことはありませんでした。パンデミックにより、世界全体でビジネスが止まり、また劇的にシフトする中で、健全なリスク管理、コミュニティへの献身的な関与、アジャイル型の計画策定により、ご契約者が最も必要とされている時にお役に立つという約束を果たせたことを非常に喜ばしく思っています。当レポートには、当社の健全な事業戦略や他に例のない企業文化、さらにはダイバーシティ、環境、および当社が属するコミュニティを含め、事業を正しく遂行することへのコミットメントを記載しており、そのことが十分にご理解いただける内容になっていると思っています。2020 年に数々の困難に見舞われた中で、これらすべてをパーパス（企業の存在意義）とプロフィット（経済的利益）の両立を図る視点で遂行できたことは、特筆されるべきことではないかと思っています。」

当レポートでは、ESG に関する重要な取組みに加え、コーポレート・シチズンシップ、ダイバーシティ&インクルージョン、ジェンダー間の平等、フィランソロピ

一、企業倫理、データ・セキュリティ、政治的な活動、および環境マネジメントなどに関する当社の戦略の展望が語られたインタビュー動画も掲載しています。また、ガバナンスとサステナビリティに関する活動、データ、統計、各種の受賞や表彰などを記載すると共に、当社、アフラック（米国）、およびアフラック（日本）の財務情報並びに事業情報を提供しています。なお、サステナビリティ会計基準審議会(SASB)、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」ならびにグローバル・レポーティング・イニシアティブ(GRI)を含む様々な報告の枠組みを統合しており、それらは ESG に関するインデックス機能を使って簡単に検索いただけます。

当社の社長兼最高執行責任者であるフレデリック J. クロフォードは、次のように述べています。「当社の ESG への取り組みは、従業員、ご契約者、および投資家の皆様に対して、正しい行いと適切なコーポレート・ガバナンスで臨むことと、企業の成長と利益を両立させるという当社の企業文化と合致しています。なお、アフラックでは、パーパス（企業の存在意義）とプロフィット（経済的利益）の両立が重要であることを皆が理解しています。当社は、常にパーパス（企業の存在意義）を意識しながら事業を展開してきましたが、今般、その成果を評価するツールを高度化し、ESG の分野で最上位の評価を得ることを目標に掲げています。当社が ESG の分野でリーダーとなり、またリーダーであり続けるためには、今後も変化に柔軟に適応していく必要があると認識しています。」

当レポートでは、日米両国の医療現場で働く人々を支援するプログラムへの 1,100 万ドルの寄付や、当社の従業員の安全を確保するための対策など、新型コロナウイルスによるパンデミックへの対応のほか、米国の従業員における女性比率およびマイノリティ比率をそれぞれ 65%および 46%まで高めることにつながっているダイバーシティ&インクルージョンへの長期的な取り組みも掲載しています。アフラック(日本)は、女性活躍推進プログラムを通じて、指導的立場にある女性（課長代理以上）の比率を 30%にする目標を立てていましたが、当初計画を 1 年前倒しで達成することができました。そして、目標のレベルをさらに引き上げ、2025 年末までに女性管理職の比率を 30%にするという新しい目標に向けて取り組んでおり、2020 年末までに 20%にするという中間目標を達成しています。また、当レポートでは、給与面でのジェンダー間の公平へのコミットメントや、小児がんと闘う子供たちとご家族への 25 年にわたる献身的な活動についても紹介しています。その一環として、小児がんと診断されて治療を受けている子どもたちの心を和ませるために始まり、各種の表彰を受けてきたプログラム「My Special Aflac Duck」の最新状況についても取り上げています。アフラックの ESG へのコミットメントおよびコーポレート・シチズンシップのより詳細な情報は、ウェブサイト esg.aflac.com からご覧いただけます。

アフラック・インコーポレーテッドについて

アフラック・インコーポレーテッド（ニューヨーク証券取引所のティッカー・シンボル AFL）は、フォーチュン 500 社の 1 社であり、日米の子会社を通じて、5,000 万人以上の方々に保障を提供し、ご契約者の皆さまが病気や怪我をした時に、給付金を現金で迅速にお支払いすることで、両国において補完保険のリーディング・カンパニーとなっています。60 年以上にわたって、アフラック・インコーポレーテッドの子会社の保険商品は、ご契約者の皆さまが経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。アフラック生命保険株式会社は、日本における医療保険・がん保険の最大手で、約 4 世帯に 1 世帯がその保険に加入しています。アフラック・インコーポレーテッドは、『Ethisphere』誌から 15 年連続で「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出されています。2021 年、『フォーチュン』誌は、20 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にアフラック・インコーポレーテッドを選出し、ブルームバーグは、アフラック・インコーポレーテッドを 2 年連続で男女平等指数の対象企業に加えました。この指数は、方針の策定、表明、及び透明性を通じて男女平等への支援にコミットしている公開企業の財務業績の推移を追跡するものです。通常健康保険が保障しない出費にどのようにお役立ていただくかについての情報は、当社のウェブサイト aflac.com をご覧ください。